

入間川地区中学校統廃合検討協議会第4回会議録

- ・開催日時 平成23年9月22日(木) 午後7時～午後8時30分
- ・開催場所 狭山市役所6階 604会議室
- ・出席者 16名(欠席者4名)
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主任
学校教育部参事兼教育指導課長 学務課長
- ・傍聴者 6名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 統廃合の具体的な検討について

(事務局) ——— 配付資料説明(略) ———

「中学校の変遷」

「狭山市立中学校の敷地・運動場面積一覧」

「狭山市の財政の現状」

(委員) 国庫支出金は返す必要がないということですね。

(事務局) 残存期間がない限り、通常は返す必要はありません。

(委員) 22年度の経常収支比率はどのくらいですか。

(事務局) 85.1%です。

(事務局) 必ず支出しなければならない額というのは、毎年ほとんど変わらないものですが、21年度はとくに税収が落ち込んだため、95.6%

という数字になってしまいました。

(委員) 事業に対して補助金が出るということですが、だいたい何年くらい前から言っておく必要があるのですか。

(事務局) 国の概算要求にのせてもらえるように、前々から話をしておく必要があります。

(委員) 3年前くらいですか。

(事務局) 最低でも2年前ですね。ですから、市町村は事業計画をしっかりと立てておく必要があります。

(委員) 冷暖房工事を実施した場合は、補助金はおおむね何%くらい出ますか。

(事務局) 冷暖房工事の場合は防衛省の防音の補助を利用しています。騒音測定の結果に基づき、4級で55%、3級で65%、2級で75%、1級で90%の補助を受けられることになっています。ただ、狭山市の場合、除湿温度保持工事いわゆる冷暖房の工事を行う際は、中のダクトをすべて外し、天井や照明も取り換える大規模修繕を併せて実施しております。その辺も踏まえたと、狭山市の場合はおおむね半分くらいといったところです。

(事務局) ちなみに、すべての教室に冷暖房が入るというわけではなく、普段使われていない教室に対しては補助が下りないことはあります。

(委員) 耐震や建て替えの場合は、どのくらいですか。

(事務局) 耐震の場合は、 I_s 値を基準に3分の2もしくは2分の1の補助が受けられることになっています。耐震工事の際には、併せて外壁の塗装や屋上防水なども実施しています。

新築の場合は、3分の1程度の補助が受けられることになっており、現状の生徒数及び学級数をベースに積算を行うこととなります。

(事務局) 先ほどの残存年数の件ですが、冷暖房工事を実施した中央中を解体

した場合には、1億7千万円くらいの返納が生じることになると思われます。

(委員) 用途変更した場合でも返す必要があるのですか。

(事務局) 条件によっては返さなくていい場合があります。

(委員) 学校の照明をLEDに換える計画はありますか。

(事務局) 体育館などは非常に電気を使うのですが、国からの補助がないこともあり、現在のところ全部をLEDに換えるという計画はありません。

(議長) 事務局から財政状況の説明がありましたが、この検討協議会では、基本方針にある既存校舎を活用するというを前提に検討を進めていくということで、皆さんよろしいでしょうか。

《委員からは特に反対意見なし》

それでは、そういうことでよろしくお願いします。続けて事務局から説明をお願いします。

(事務局) ——— 配付資料説明 (略) ———

「進学先の割合」

「通学距離について」

(委員) 事務局にお願いがあります。ホームページに載せている会議報告の内容に関してですが、中央中を廃校にしてほしいという前回会議で出した意見が抜けていたりしていたので、もう少し事前に精査してほしいなと思っています。会議報告の決裁も事務局内でしか回していないようですが、ここにいる委員に了解をとらずにアップしちゃっていいのかなと…。文書は5年保存ですから、録音データなどもそのくらいは消さずに残しておいてもらいたいなとは思っています。今後は通学路の事などでいろいろと揉めることになると思いますし、言った、言わないといったこともあると思いますので…。

(事務局) ホームページにアップしている会議報告につきましては、個人が特定されないように概略版の形で出ささせていただいております。もちろん、委員様の意見を意識的に落としたということは一切ありませんが、

今回、中央中を廃校にしてほしいという意見が抜けていたというご指摘をいただきましたので、すぐに差し替えさせていただきました。その点につきましてはお詫びさせていただくとともに、今後も自分の意見が載っていないといったようなことがありましたら、ご指摘いただければと思っております。会議報告を委員の皆様全員に見ていただくとなると、時間的なこともあって現実的ではないと思いますので、会長に事前に確認していただくということで事務局としては考えています。

(2) その他

(事務局) 次回の会議につきましては10月27日(木)を予定しております。

今回は、前回出させていただいたようなシミュレーションをもとに、具体的な検討に入っていきたいと考えています。

(事務局) シミュレーションにつきましては、もう少し絞った形で検討するという方法もあると思うのですが、そのあたりは如何でしょうか。

(委員) 多すぎるよね。今日の資料も多すぎるよ。財政の資料も出ているけど、これを分析して解かる人は少ないと思うよ。今の進め方は核心にふれてないし、今日みたいな資料は作ろうと思えばいくらでも作れると思うけど、これじゃ足しにならないよ。3校のうち1校を廃校にすることを決めるためのもっとリアルな資料を作った方がいいと思うよ。これじゃ、周辺知識が増えていくだけで、何も残らないし先に進まないよ。

(事務局) これからは、ある程度精選してやっていただくということでよろしくをお願いします。

(委員) ある程度絞ってということですが、やはり次回からは中央中にするか東中にするかということによろしいかと思えます。

それと前回出たシミュレーションの件で要望なのですが、「中央中学校の廃止⑩」というのがありましたが、東中学校を廃止して、東中校区全域を中央中に移すと同時に、中央中のうち奥富小通学区域全域を柏原中に、さらに中央中のうち線路北側の入間川東小通学区域の一部を入間川中に学区変更するという形の方がうまく当てはまるといった

意見もあるので、そういったパターンも加えていただければと思います。

(事務局) 前回、事務局としての考え方を出したらどうかといった意見もございましたが、もう少しポイントを絞った形で資料を出させていただければと考えております。

(議長) そういうことでよろしいですね。
《委員からは特に反対意見なし》
他には何かありますでしょうか。

(委員) 前に聞いたかもしれませんが、東中が耐震補強工事をしていない理由をお伺いしたいのですが…。

(事務局) もともと耐震工事は中学校よりも小学校を優先して実施してきたということはありますが、東中につきましては、入間川地区の中学校の統廃合の検討を進めるということがありましたので、仮に補助金をもらって工事した後、東中を廃校にするようなことになってしまった場合には補助金の返還などということも考えられましたので、統廃合検討協議会の検討結果を踏まえたうえで判断させてほしいという観点から、先送りになってしまったというのが現状です。

(委員) エアコンの除湿温度保持工事も同じということですね。

(事務局) 除湿温度保持工事は、現在設置されている暖房の設備をなくして、冷房及び暖房の設備を新たに設置するのですが、暖房の工事をしてから15年以上経ていないと、また補助金返還ということになります。ですから、そういう状況を踏まえたうえで工事の順番が決まることになります。

(委員) 夏暑いのは、子どもたちにとっては死んでしまうかもしれない問題ですので、教育委員会にはクーラーの設置を要望したいと思っています。

(事務局) それは確かにその通りだと思います。ただ、お店にあるようなクーラーを設置することはできないのかといった意見もありますが、校舎

は防音化されていることを前提に造られているため、そういったことをすると防音を損ねるということで、防衛省から指導を受けるということにもなりかねません。ですから、狭山市としては、そういった形もなかなか難しいのかなとは考えています。

(委員) でも、それは役所関係の話ですよ。もっと子どもの立場で考えてもらいたいと思うのですが…。

(事務局) 27年度までには全校に冷暖房を入れたいと考えております。子どもたちが暑くて大変な思いをしているということは認識しているつもりです。

(委員) 中央中が残った場合、現状では教室が足りなくなると思うのですが、それに対する付帯設備の費用はいくらかかるとか、東中を残した場合の耐震工事の費用はどれくらいかかるかなどといった数字を出していただくことは可能ですか。通学の人数割合とか時間とかだけではなくて、そういった金額的なことを出していただければ、審議しやすくなるのではないかと思います。

(事務局) 既存施設の活用を前提に統廃合を進めていくなかで、増築ということは正直なところ考えておりません。

(委員) 東中の耐震工事の費用は、もう出ているじゃない。中央中だって増築なんか考えていたら大変だよ。

(委員) 通学区は未だ決まっていませんから、東中か中央中かということで、仮に東中がなくなるとなった場合、東中の生徒全員が中央中に行くということも考えられます。ただ、それでは入りきれませんので、一つの案として出させていただいたということです。

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 第3回会議録
- ◆ 中学校の変遷
- ◆ 狭山市立中学校の敷地・運動場面積一覧
- ◆ 狭山市の財政の現状
- ◆ 進学先の割合
- ◆ 通学距離について